

月面宇宙ロボットの開発

課題

★大阪発の人工衛星まいど1号に続く新しい月面宇宙ロボットを開発して、大阪の技術力を世界にアピールする★

検討過程

◎キックオフ

SOHLAによる課題説明・チーム編成・課題のつかみ所がない

★Janus Conesによる情報整理

情報収集・デザイン思考方法の実践・まだあまり見えてこない

◎アンケート調査（2回実施）

月面宇宙ロボットに対するニーズや期待を抽出するためのアンケートの実施、分析→一般的な内容が多く決め手に欠ける

4 SOHLAさんへの中間報告会

アンケートの分析結果と活動内容を報告→激励を受ける

5 アイデア創出

それまでの成果を踏まえて最終的な案だしを実施

★アンケートの内容を含む、月ならではのモノを考える

6 まとめ

アイデアを分類、評価し最終案を作成

アンケート結果

質問 月で何をしたいか？してほしいか？

実験・調査・開発系

地質調査

住める環境をつくるロボット

物理実験(将来すむため)

娯楽系

うさぎともちつき

スポーツ

- ・ 特にしたいことはない。(20歳男)
- ・ 演奏したい。(19歳男)
- ・ おもいきりジャンプしたい。(19歳男)
- ・ バックホウしたい。(19歳男)
- ・ 宇宙服無しで歩きたい(20歳男)
- ・ 軽い身体で走り回りたい(19歳男)
- ・ 地球をみたい(大阪工業大学生)
- ・ 生活したい(大阪工業大学生)
- ・ 観光(大阪工業大学生)
- ・ 地球が見たい(18歳女子大生)
- ・ 住める環境をつくるロボット(水、酸素など)(25歳女性)
- ・ 重力6分の1の体験をしたい(18歳女子大生)
- ・ 歩いてみたい、走ってみたい(19歳女子大生)
- ・ 住んでみたい。(16歳女子高生)
- ・ 月で資源を取りたい(60歳男性)
- ・ 移動式コロニーになったり資源を取ったりするロボット(50代女性)
- ・ 大気のない空を1日見てみたい。(50代女性)
- ・ 温度差を利用したエネルギーを有効活用する。(70代男性)
- ・ 地球から月の映像が見たい(40代女性)
- ・ 月でいろいろな実験をしてほしい(大阪工業大学生)



あこがれ・ロマン



物理的法則



環境保全・娯楽

A案 うさぎと餅つき

月へのあこがれに答える



月でうさぎロボットと人が地球からVR操作するロボットが餅をつく。餅は地球に持ち帰り食べてもらう。

B案 自由研究

月面と地球上の物理法則の違いを身近にする



月面に作業ロボットを送り夏休みの自由研究を遠隔操作によって月の環境下で行う。

C案 シューティング

月面上の環境を保全する



月に落ちる隕石を地球から遠隔操作で撃ち落とす。将来、月に移住するときの居住地域を保全する。

今後の課題

今回はアイデアの抽出まででしたが、今後は活用される技術の検討課題の抽出と解決策を見つけることが必要です。

メンバー 西住裕樹・松栄陽彦・松波朋音・麦谷祐真・山田萌